

News Letter

日本の農林水産業の未来に向けて

島根県立大学浜田キャンパスで施策説明を実施



令和6年5月29日（水曜日）、中国四国農政局島根県拠点は、島根県立大学浜田キャンパスにおいて、地域政策学部地域政策学科の1年生148名を対象に「日本の農林水産業の未来に向けて」と題した講義を行いました。

この講義は、農業系以外の大学で「地域の課題に対して、多角的な視点で解決策を見出し、地域の発展に貢献できるグローバルな人材を育てる」ことを目標とする同大学に対し、島根県拠点からアプローチして実現しました。

講義では、次世代を担う学生に農業を取り巻く現状や農林水産省の施策を理解してもらうため、「これまでの農業政策の移り変わり」、「食料消費構造の変化」、「日本の農林水産業を取り巻く現状と課題」、「食料・農業・農村基本法の見直しの方向性、改正案の概要」などについて説明を行いました。



熱心に講義に聞き入る学生

また、農林水産省の組織や、みどりの食料システム戦略をはじめとする農林水産省の施策について、動画を交えながら紹介しました。



講義を行う守屋地方参事官

説明を受けた学生からは、「農業が社会に対してどれくらい役割を果たしているか分かった。若者がもっと農業というものに興味をもたないといけないと感じた」、「農業にもロボットやICTが思っている以上に活用されていることに驚きました」、「みどりの食料システム戦略の取組の一つである『てまえどり』や、おいしく残さず食べることは、私自身もできることなので、取り組んでいきたい」といった意見や感想が寄せられました。

島根県拠点では、今後も県内の大学生や高校生を対象に施策説明を実施する予定です。

ディスカバー 農山漁村の宝 AWARD ～第11回選定～

（ エントリー募集中 ）

募集期間

令和6年6月7日(金)～8月9日(金)

詳しくはこちらをご覧ください

<https://www.discovermuranotakara.com>

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」ホームページ

(特設Webサイト: 外部リンク)



“これから”を農山漁村から。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。

本年も、他の地域の参考となるような素晴らしい取組事例を募集します。

受賞体系

（ グランプリ ）



優秀賞

ビジネス・イノベーション部門
所得向上や雇用を生み出す取組等
団体向け

優秀賞

コミュニティ・産地地消部門
地域活動による活性化の取組等
団体向け

優秀賞

個人部門
リーダー的な活躍をしている者等
個人向け

（ 特別賞 ）

特長の際立つ取組の認知度をさらに向上させるため、選定された地区の中から、特別賞を選定

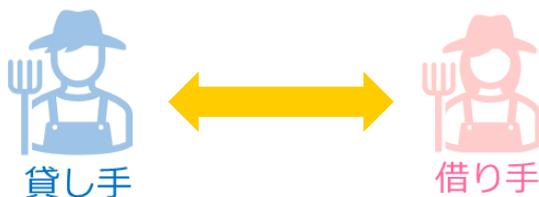
令和7年4月から農地の貸借等が原則農地バンク経由になります！

これまで市町村が作成した農用地利用集積計画から農地バンクを経由した農用地利用集積等促進計画に一本化されます。

※農地法に基づいて農業委員会の許可を受けて権利設定を行うことは可能です。

〔 現 行 〕

市町村計画(※1)による相対の農地の貸借



〔 令和7年4月以降
又は
地域計画が策定された地域 〕

目標地図(※2)の実現に向けた
農地バンクによる農地の貸借



※1 市町村が作成する農用地利用集積計画（同計画による貸借は令和7年3月までは経過措置期間として活用可能）

※2 目標地図：市町村の作成する地域計画の中で、農地一筆ごとに、誰が耕作するかを示した地図。随時更新が可能。

詳しくはこちらをご覧ください(中国四国農政局ホームページ「農地中間管理機構」)

<https://www.maff.go.jp/chushi/ninaite/nouchi/chuukan/index.html>